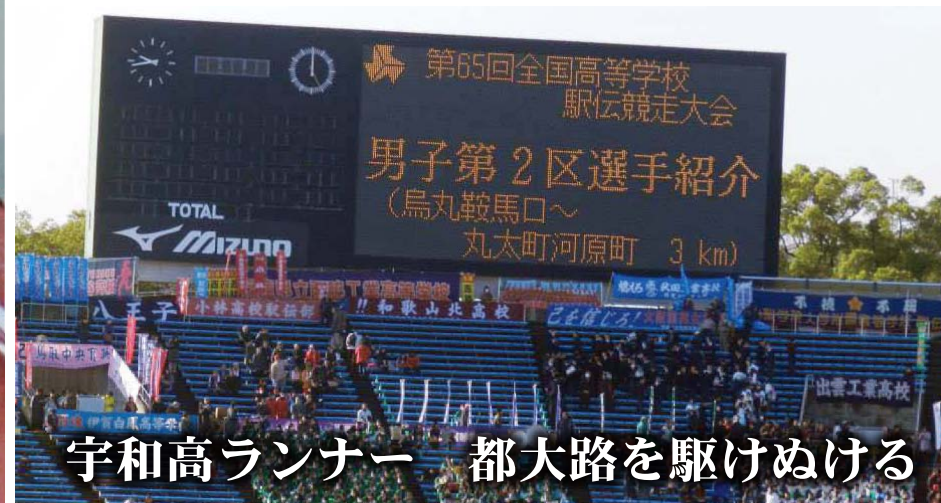




西予市から駆け付けた応援団



練習風景(宇和運動公園)

夢を叶え
未来へつなげ 心とたすき



スタート(西京極陸上競技場)



スタンドからの応援

編集委員
委員長 菊池 純一
副委員長 兵頭 学
委員 源 正樹
委員 井関 陽一
委員 中村 敬治
委員 二宮 孝志
委員 元親 孝志

編集後記
宇和高校陸上部が55年ぶりに全国高校駅伝に出場しました。選手はもちろん、出場に尽力された部員・岩川監督・学校関係者・保護者の皆さまに心からのお喜びと敬意を表します。来年もまた都大路を駆け抜けられることを期待しています。
西予市にとっても合併10周年を彩る本当に嬉しいニュースでした。困難な諸課題が山積しておりますが、次世代へ駅伝のようにタスクを繋げられるよう議会としても更なる努力をします。

(源)

開かれた議会を目指して
市民と議員との意見交換会を開催

P14

委員会視察報告 P15



犯罪のない安心・安全な町づくりを

市内の防犯カメラ設置に一部負担

12月定例会

12月定例会

12月定例会が12月2日から19日までの会期で開催されました。条例案件4件、指定管理者の指定案件9件、補正予算6件、請願1件、陳情5件、要請2件、意見書1件でした。
一般質問には、7名が登壇しました。



放課後児童健全育成事業 129万円

明浜地区で開設する、学童保育
利用施設の修繕に係る経費

一般会計主な事業

1. 障害者総合支援給付事業 925万円
2. 障害者自立支援医療費給付事業 2247万円
3. 民間保育所運営費負担金 2653万円
支払事業
※保育所運営費国庫負担金交付要綱の
一部改正及び入所者数の増加に伴うもの
4. クアテルメ宝泉坊管理運営事業 424万円
5. 野菜生産振興対策事業 51万円
※イチゴの新品種「紅い雫」のブランド
確立及び生産拡大を図る経費
6. 中山間地域総合整備事業 325万円
7. 市道湯の川・くらぬき線改良事業 324万円
※明浜支所改築と関連して実施する事
業で、用地測量設計を計上する
8. 消防団施設整備事業 314万円
9. 全国大会出場選手支援事業 50万円
※宇和高校が全国高等学校駅伝競走
大会に出場するにあたり支援するもの

※予算額につきましては、万円未満を四捨
五入の数字です。



卯之町駅前交差点の防犯カメラ 30万円

防犯協会が実施する防犯カメラの
設置及び維持管理に対して事業費
の一部を負担するもの



市観光PR事業 41万円

「のむら軽トラ市」の県内外への
広告宣伝経費



市有財産維持管理事業 2749万円

旧宇和病院、旧松葉寮及び旧医
師住宅の建物撤去の設計等と、
廃棄物処理に係る費用

学童保育の 現状と見通しは

厚生 常任委員会

厚生常任委員会

游の里指定管理

Q 期間が3年となっているが理由は。

A 高齢者福祉計画・介護保険事業計画が3年単位となっていることが要因であり、当初から3年を期間としています。

高齢福祉課

広域化の状況は

Q 国保財政が圧迫されているが広域化の見通しは。

A 国保基盤強化協議会の中間整理では、都道府県単位での設立へ向け、財政基盤強化等の早期の枠組み決定・財政支援拡充が論点となっています。

市民課

学童保育を全域に

Q 城川地区のみ学童保育事業の実施予定がないが今後の見通しは。

A これからの小学校統廃合に合わせて進めていきたいと考えています。

社会福祉課

明浜地区の学童保育が始まります



俵津地区集落総合施設(明浜町)

明浜地区で平成27年度より学童保育が新規スタートする予定です。当面は、俵津公民館隣の集落総合施設で実施されます。子育て支援は、西予市だけでなく日本全体の大きな課題です。学童保育だけでなく、さらなる積極的かつ、先進的な施策が必要です。

教職員宿舎の 有効活用を

総務 常任委員会

総務常任委員会

デマンドタクシー

Q 市民病院開院に伴う利用状況は。

A 満席になることはない状態です。周知徹底のため公民館を通じて老人クラブなどから要請があれば説明会を積極的に行います。

企画調整課

旧宇和病院解体

Q 解体費用の概算見込み額は。

A 旧宇和病院・旧松葉寮・旧医師住宅を含め約1億8900万円程度を見込んでいます。跡地計画は未定です。

総務課

教職員宿舎

Q 統廃合に伴う宿舎の扱いは。

A 施設の有効活用の意味から教職員宿舎の再編計画の見直しを図ったうえで、条例を改正します。

学校教育課

消防・救急デジタル無線システムの調査



基地局(法華津)・指令本部

消防救急無線は、市民の安心安全を確保する消防救急活動において、消防本部と消防隊及び救急隊間を結ぶ通信システムです。無線のデジタル化は、全国の消防本部が使用しているアナログ方式が使用出来なくなる為です。国庫補助を活用して整備しました。

請願

手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書の提出を求めることについて

採択(全会一致)

陳情

児童養護施設ひまわりの家移転新築資金の助成を求める陳情書 趣旨採択(賛成多数)

スケールメリット

Q 浄化槽汚泥処理について、量が多いが経費削減はできないのか。

A 現在は見積段階であり、内容を精査の上、入札を行います。経費削減に努めます。

病院事業

クアテルメ宝泉坊修繕

Q 事故等の危険が想定される緊急性の高い案件への対応は。

A 修理自体に日数がかかり、臨時休業も難しいことから、2月の長期休暇に合わせて修繕事業を行っています。

健康づくり推進課

陳情

自治体非正規雇用・公務公共関係労働者の雇用・待遇の抜本改善を求める意見書に関する陳情書 不採択(全会一致)

意見書

人口減少問題に的確な対応を求める意見書(案)の提出について 採択(全会一致)

防災行政無線

Q 防災行政無線移転費180万円の内容は。

A 株式会社ちぬやホールディングス建設敷地内から敷地外へ現在の状況を確認して移設する費用です。

危機管理課

消防団施設整備

Q 消防施設費314万円の内訳は。

A 野村中筋分団の小型ポンプ蔵置所移転費185万円。三瓶谷道分団詰所裏の寄付土地での駐車場整備費129万円です。

消防本部



小野 正昭

若手職員の意見を聞く耳は

市長 若手職員のやる気に期待

市長

次の10周年を見据えて「第2次西

意見交換はしているか。

係長以下の若手職員との

点施策は何か。

問

20周年に向う
第一歩となる重



期待の若手職員

予市総合計画」を策定中であり、共通の課題としては、人口減少への対応が必要なことから、子育て支援・産業創出・経済振興・定住促進・四国西予ジオパークの推進等の様々な取り組みを複合的に行う必要があると考えています。

また、若手職員が市政に参画できる機会を設け、日々の業務の中で、課題を見出し、自ら考え、率先して解決していく姿勢が大切なことから、課題

福祉部長

1年を経過する
来年度中に、利用

者や対象者に対するアンケートを実施したいと考えています。その意見を集約した上で必要があれば見直しの検討をしたいと考えています。

問

通院や買い物
支援として実施

している「高齢者路線バス利用助成事業」の効果をもとめ、利用される方に対し、事業に対する意見聴取を実施し、見直しを検討してはどうか。

を見逃したり、隠したりせず、それを解決することが評価される環境づくりを関係部課長に指導しています。

問

西予市民病院
開院後の問
題点・反省点は。

公営部長

新病院建設は、様々な影響で工期が2ヶ月延伸するなど、開院準備期間も計画より1か月短くなり、厳しい状況の中、全職員一丸となり準備を進めました。患者さんへのサービス向上や、事務の効率を図る目的で電子カルテ等を導入し、その都度問題点を抽出、改善を図りなが

その他の質問

・仮称「地方創生推進交付金の対応について」
・おイネ事業について
・津波及び災害について



新西予市民病院ロビー

いちごブランド化

「紅い雫」

産業建設 常任委員会

新品種「紅い雫」

Q 51万円で何をするのか。

A P R用ポスター、ミニこいのぼり、京阪神での商談会、生産拡大の為の親株の配布など行う予定です。

農業水産課

指定管理者制度

Q 10年経つが見直しはないのか。

A 委託料などについて会合を行ったところで、再算定や公募についても検討中です。

経済振興課

委託料が違う

Q 宝泉坊ロッジの委託料が収支計画書201万円に対し補正予算額では158万円となっているがその違いは何か。

A 計画書は指定管理者が作成した資料であり、この額から精査・減額するため差額が生じています。

経済振興課

獣肉利活用について調査



ししの里せいよ(野村)

買い入れ価格変更(駆除期100円→200円/kg、狩猟期200円→400円/kg)と搬入頭数増加による獣肉利活用推進補助金182万円の補正予算を受ける「ししの里せいよ」を視察しました。

獣肉の利用方針や解体の現状等について施設責任者から説明を受けました。

要請書

26年産米の下落に関する要請書

趣旨採択(全会一致)

J Aグループの改革に関する要請書

趣旨採択(全会一致)

陳情

「農業改革」の名による農業・農協つぶしをやめ、地域を守る陳情書

継続審査(全会一致)

「森林・林業基本計画の推進に係る意見書」
「地域林業・地域振興の確立に向けた(山村振興法)の延長と施策拡充に係る意見書」

採択(全会一致)

西予市単独住宅を

Q 利用見込みのない西予市単独住宅を集会所として利用されるが、修繕費用等はどうするのか。

A リフォームを行わなければならないが、費用は地元負担です。

建設課



森川 一義

一般質問

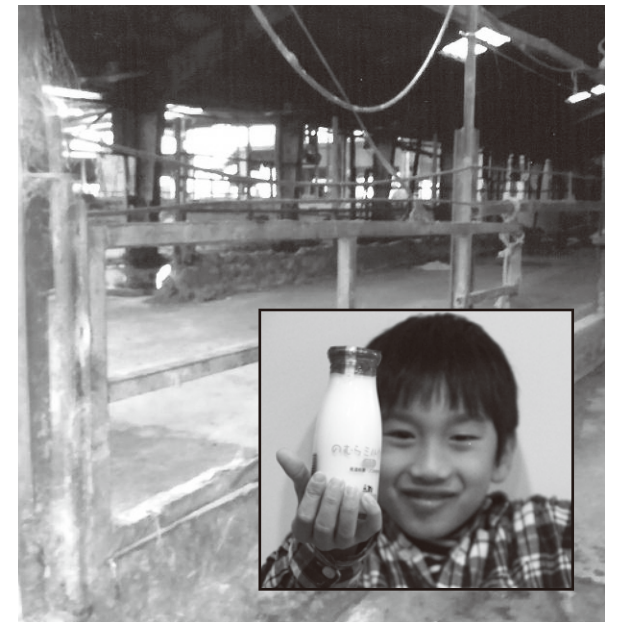
畜産業の振興を

産建部長 安全安心で低コストの飼料導入を検討

問 畜産農家への経営支援のため、学校給食に西予市の牛肉は使われているか。また、牛乳の消費拡大は。

産建部長 学校給食では一般流通に乗った肉を仕入れており、西予市産の牛肉がどれくらい利用されているか把握はできませんが、地域で取れた食材をできる限り活用できるように納入業者の協力を得ながら、市内生産品を多く使うようお願いしていきます。

牛乳については、市内



のむらミルクおいしいよ

で開催されるイベント時に、酪農家の皆さんによる消費拡大PR活動や食育教室など、様々な消費拡大運動が行われています。

市では、飼料イネの作付普及に努めており、研修会を開催するなど、安全安心で、低コストの飼料導入について関係機関、農家との検討を進めています。

問 年に一度、市内各町の交流を兼ねて、一泊二日でバスによる県外への先進地視察研修を実施しては。

教育長 西予市では若者の知識・能力・技術などの向上を目指す事業として、「若者キャリアアップ活動助成事業」を行っており、国内外で交流・研修活動を行う個人に対して20万円を限度として補助をしています。

問 現在使用されていない市営住宅の今後の対応は。また、卯之町四丁目の宇和授産場付近にある県有地の道路拡幅はできないか。

総務部長 西予市公営住宅等長寿命化計画に

研修会、交流会など各種団体とも連携し若者が交流できる場の提供など、将来の指導者が生まれる環境整備に努力したいと考えています。

産建部長 授産場付近には県所有の職員官舎などがあり、建物のブロック塀により見通しが悪い状況です。今後、県と協議を行い、ブロック塀の撤去などにより見通しの確保の検討を行います。

福祉部長 宇和授産場は、倒壊の危険性も懸念されることから、施設の廃止と解体について検討したいと考えています。



宇和授産場付近の道路



井関 陽一

一般質問

耕作放棄地の対策は

産建部長 相談しやすい窓口で対応

問 米価下落により耕作放棄地が増加すると思われるが、多面的機能支払い交付金・耕畜連携・農地集約の取り組み状況は。20年後の式年遷宮に西予市のシルクは奉納できるのか。

産建部長 交付金への取り組みは、86組織であり、新規は野村の4組織です。宇和で2、城川で4組織の希望があり来年対応予定です。米価下落の対応としては、農業支援センターを中心に、相談しやすい窓口を設け、飼料稲・米は、耕畜連携加算を取り組み



石割り米の里(野村)

ながら対応する予定です。農地集積については、人・農地プランで対応しています。

市長 養蚕農家は、現在6戸で、平均年齢78歳です。一貫生産産地として、愛媛県伊予生糸産地再生協議会を立ち上げたところです。養蚕に特化した地域おこし協力隊の募集もしています。また、買い取り価格も大胆な取り組みを考えます。

問 わんぱくランドをサバイバルゲームの競技場として利用できないか。三滝ロッジをジオパークに合わせて有効利用できないか。

野村所長 わんぱくランドは、平成21年5月から休園し、納涼祭の駐車場として利用しています。サバイバルゲームでの利用は、①銃器型の道具を使用することへの住民の理解②住宅や農地、

道路への着弾問題③維持管理費用等の問題④競技場として利用することが、自治体が管理する施設として適切かどうか⑤条例上の問題等により現時点では困難と判断しています。

城川所長 三滝ロッジは、平成24年4月から閉鎖となり、城川支所産業建設課で管理しています。地質館を学習の拠点と位置付け、三滝溪谷・三滝山など周辺を含めた魅力あ



わんぱくランド(野村)

問 地域活性化センターの「全国地域リーダー養成塾」へ職員を研修に行かせる事は出来ないか。

総務部長 庁内に行政課題に対応できるように研修委員会を設けています。

職場内・職場外研修、自主研修などが計画的に行われているので、来年度の計画の中で検討します。



源 正樹

認知症徘徊対策は

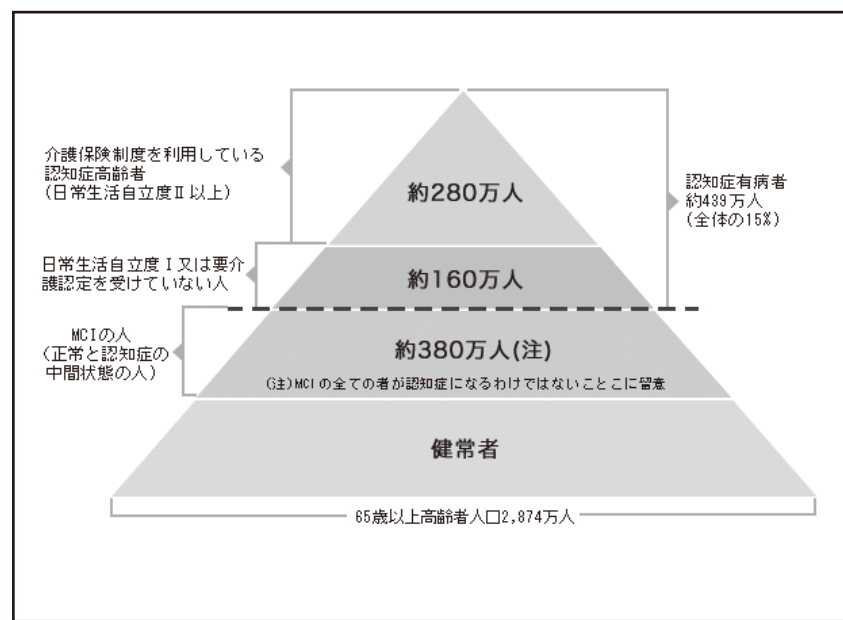
福祉部長 「徘徊SOS登録事業」や「高齢者あんしんネットワーク」の整備を推進します

問 住み慣れた地域で住み続けるためには、地域で認知症への理解を深めると同時に、万が一徘徊が発生した際は即応できるような取り組みが必要だ。

福祉部長 徘徊が発生した場合の、現在の対策、そして、今後の見通しは。

福祉部長 先進地の福岡県大牟田市では、徘徊をして行方不明とならないよう市民全体で見守る体制構築、認知症になっても安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいます。

本市でも「SOS登録事業」を準備中です。徘徊の恐れのある認知症の方を事前登録し、徘徊発生時に早期発見に結びつけられるよう関係機関との連携体制を構築します。



全国の65歳以上高齢者における認知症の現状(平成22年推計値)

問 徘徊発生時、早期発見のためには、消防や警察などの行政機関だけでなく、銀行・郵便局・農協・商店・各種事業者・地域住民の協力が不可欠だが、どのように連携するのか。

福祉部長 地域の中で高齢者と日常的な関わりを持つ金融機関や商店、交通機関などの事業者の協力をいただき、一人暮らしの高齢者などへの見守りを行う「高齢者あんしんネットワーク」を検討しています。

福祉部長 これを拡充するとともに、民生児童委員や地域住民による見守り活動との連携・協力を図りたいと考えています。

福祉部長 取り組みを急いでいる認知症ケアパス(ガイドブック)で、相談窓口・市内医療機関の紹介、また簡易チェック表を載せるようにしています。

福祉部長 また、認知症地域支援推進員を配置し、高齢者

問 軽度認知障害は早期発見・予防が大切だが対策は。



徘徊者の靴に蛍光シールを貼付けている事例

その他の質問 ・ゲリラ豪雨発生時の避難指示等の発令について



菊池 純一

経済振興策は

市長 産業間の連携促進と企業立地が必要

問 本市の経済状況と課題は。その振興策は。

産建部長 一次・二次・三次産業とも社会情勢の変化による価格や消費低迷・担い手不足等で厳しい状況です。

市長 課題は、増大している空店舗や空家を活用する新規起業家への支援を図ると共に、基幹産業である一次産業の振興や販路拡大による経済循環が重要であると捉えています。

市長 活性化のために産業間の連携等の促進が必要です。昨年11月に市と地元金融機関3

行と協力協定を締結しました。また経済循環プロジェクトチームを立ち上げ、このチームを中心に金融機関と連携を図りながら現場のニーズに即した施策を検討していきます。

また地域経済の発展に即応性のある優良企業誘致が必要です。昨年度企業誘致条例を改正し、その後宇和地区に食品加工

事業所の誘致が実現しました。年明けの1月末頃に起業立地協定を、㈱ちぬやホールディングスと調印式を行なう予定です。今後このような事を積極的に進めていきます。

地方創生についてはプロジェクトチームを立ち上げて国の対策に対応できるように体制をつくっていきます。



(株)ちぬやホールディングス建設予定地



ロゴマークを活用した産品

財務部長 ある地域では訪問者の増加があり、また関連するイベント等が増えたことやロゴマークを付けて産品を売り出したことで産業への波及のきざしを耳にしています。

市民からの意見に対応しようとするあまり場当たり的に対応してきた傾向にあり、計画性が無か

財務部長 ガイド養成・出前講座を行い、ジョオを活用した産業振興・ジョツァー・防災教育・健康づくりなどに取り組んでいます。

今後はジョオパーク推進計画に基づき、推進協議会と連携しながら計画の中に市内の個々の活動なども掲載していくなど強化を図っていきます。

地域の人々の活動の中でのぼり旗・垂直幕案内看板などの充実と整備を進めます。シンボルマークのシール利用は検討します。

問 ジオパーク認定後の一年間における効果と反省点は。そこから見えてきた課題は。

問 現在の取り組み状況と今後の推進方法は。

つたと思います。

まだまだ市民にジオパークの本質が届いておらず、インフラ面も足りていないと思います。



ふるさと創生事業の反省点は

企画財務部長 教訓を活かして対応します

平成元年に実
施されたふる
さと創生事業の検証を
踏まえ、まち・ひと・し
ごと創生法への対応
は。

財務部長 国会で法案が可決され、自治体において地域の実情を勘案した「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとなりました。

過去において計画性、将来性、独創性の欠如による様々な失敗例があり、失敗に更なる投資をして失敗を拡大してしまう「サンクコストのジレンマ」に陥らぬようしつ

問 平成24年に開
催された行革甲
子園で大賞に輝いた
が、その後の進捗具合
と、成果はどうなっ
ているか。

財務部長
係長以下の若手職員により行財政



行革甲子園授賞式

資源のあり方で提案された改善・対策案３９９事業につきましては平成２３年度から市政運営などに反映され、進捗管理は総務課・財政課・企画調整課で構成する行政評価推進事務局で行い、現在８割弱の事務事業が改善・対策等の取り組みを終えています。

ただ、予算削減には反映できていないのが現状です。

元気な地域づくりをどうする

市長 自主自立で、地元を誇りを



地域づくり交
付金制度の3年
間を振り返り、効果の
出ていることと、今後
の課題と対策は。

財務部長 地域によっての温度差があり、それは危機感の違いだと考えます。地域づくり組織において、話し合いの場が出来ていない・有効な使い方が分からない、また、既存組織との重複感などについて課題だと思っています。

今後、全般的な地域振興施策の見直しと、交付金組織では、頑張る地域へ多く配分するなど、アンケートやヒヤリングに

加え、外部有識者を加えた検討会なども考えた
い。

問 今後、自主防災や地域包括など高齢者対策の組織と合わせた組織づくりをする為に何が必要か。

市長 上手く行つて
る地域は、以前か



地域づくり事業(高川地域づくり会)

ら村づくりをしていたり、危機感がある。危機感のない地域は配分型になっている。案としては、既存の組織のなかの地域づくり組織にするなど工夫しながら、誇りが持てる、自主・自立の地域にして頂きたい。

問 市内のボランティアの活動状況を聞きたい。

① 国体に向けたボランティアは。

② 高齢者のボランティア・アポイント活動は。

③ 婚活のボランティアは。

④ 観光のボランティアは。

教育部長 国体は、ボランティア活動なくして西予市会場の成功はありません。

おもてなしの心で西予市の魅力を発信出来るよう協力をお願いしたい。

福祉部長 フライバシーや個人情報の問題が有り実現できていないが、今後、生活支援や見守りなどの取り組みが必要と考えています。

53名の結婚推進
委員が、相談・情報

交換・婚活イベントの活動をしています。先日イベントでは、50対50で行い何組かのカップルが誕生しました。また、今までの成婚は22組の成果が出ています。

財務部長 43人のジオガイ
ドの登録で、23人に実務経験があり、内訳は、狩浜の段畑が13人・須崎海岸6人・穴神鍾乳洞3人・四国カルスト・1人となっています。

財務部長 43人のジオカイ
ドの登録で、23人
に実務経験があり、内訳
は、狩浜の段畑が13人・須
崎海岸6人・穴神鍾乳洞
3人・四国カルスト・1人
となっています。



婚活パーティー(11月22日)

問 西予市来訪者
に対するおもて
なしとしての、宿泊施
設やトイレの整備、食
事や情報提供の対策は
どうなっているのか。

産建部長 施設内を含む94ヶ所のトイレの3割が多機能トイレであり、
ますが、新設・増設・修繕の
の事業において、設置ス
ペースや構造上対応でき
ないものも数多くありま

また、看板や案内標識が未整備や老朽化したものが多くありジオパーク認定を契機に計画的に整備を進めたいと考えています。

愛媛国体の宿泊客については市内の宿泊施設で対応し、上回った場合は民泊で対応できるよう実行委員会で協議・検討をし、野村町で民泊の説明会を計画しています。



市民と議員との意見交換会を開催

意見交換会を平成26年11月7日野村会場、11月19日宇和会場の2日間に分け開催しました。

○野村会場
開催場所：野村公民館
参加者数：21人
出席議員：15人
○宇和会場
開催場所：教育保健センター
参加者数：10人
出席議員：11人

報告テーマ

- (1) 議員報酬・定数及び政務活動費について
- (2) 平成25年度決算について
- (3) 空き家の現状と対策について
- (4) 認知症徘徊の現状について
- (5) 女性の活躍について

今回は、平成23年12月に議会基本条例を制定してから試行も含めて3回目の開催になります。



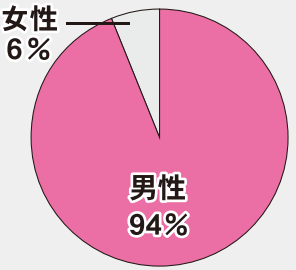
この意見交換会でいただいた多くの意見は、今後の貴重な資料として活用します。

今後とも、より多くの皆様の参加をお待ちしております。

なお、意見交換会の概要や参加者からいただいたアンケート結果は西予市議会のホームページに掲載しています。

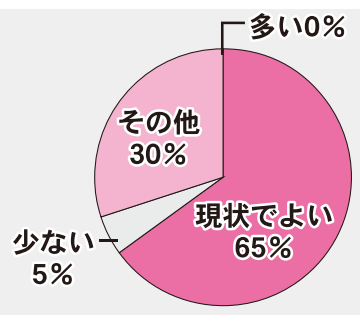
◆参加者性別

○男性：29名
○女性：2名



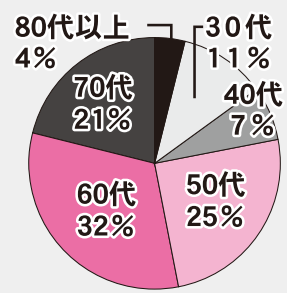
◆議員報酬について

○多い：0名
○現状で良い：13名
○少ない：1名
○その他：6名



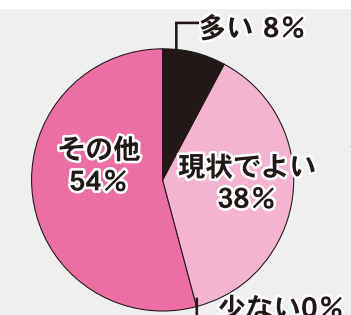
◆参加者年代

○30代：3名
○40代：2名
○50代：7名
○60代：9名
○70代：6名
○80代以上：1名



◆議員定数について

○多い：1名
○現状で良い：5名
○少ない：0名
○その他：7名



視察目的

平成26年11月10、12日に愛知県一宮市議会・三重県鳥羽市議会・三重県伊賀市議会を視察し、「議会の見える化」を図るため、ICT(情報通信技術)導入・意見交換会等について視察を行いました。

視察成果

一宮市議会では、議場に大型スクリーンを設置し、一般質問で利用していました。鳥羽市議会は、全国で初めて公式ツイッターによる情報発信をされています。また、タブレット端末を全議員が使用、委員会も含めて全ての会議でインターネット中継を行うなど先進的な取り組みを実施されています。「議会改革も観光資源」との言葉が印象的でした。

伊賀市議会では、出前講座や議会政策討論会の実施

をされています。

議会報告会は8年間実施されていますが、参加者数が伸びずマンネリ化しているようでした。

これから

西予市議会でも議会の見える化を図る取り組みをしなければなりません。

市民との意見交換会は、より多くの参加が見込めるよう努力が必要です。

市民との相互理解を深めることが、議会に対する信頼の獲得につながると強く感じました。



鳥羽市役所にて

議会だより たかちほ に学ぶ

議会だより編集委員会

いきさつ

9月に広報コンサルタント芳野政明先生を講師として、議会だより研修会を開催しました。

その研修で、芳野先生から宮崎県高千穂町議会の編集委員会を紹介して頂き11月17、18日に視察をしました。

視察成果

高千穂町議会だよりは、町村議会広報コンクールで10年の間に3回優秀賞・奨励賞1回・入選1回受けており、視察の申し込みが多く、要領よく要点を解りやすく説明して頂きました。

議会報編集委員は6人で常任委員長は委員になる決まりで、委員会報告がスムーズに出来るようにしてありました。

紙面はオールカラーで、随所に方言を使いながら、1頁の割合を記事4割・見出し2割・写真2割・余白2



高千穂町議会本会議場にて

割の割合になるように留意しているとの説明でした。

これから

記事の編集は作文を作るのではなく、事実としての記事を要約し、解りやすい表現を使い、掲載写真は出来るだけ人物が入り動きのあるものを使用し、市民が手に取って見てもらえるよう工夫を重ねてまいります。